

【表紙】

| | |
|------------|----------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成24年8月10日 |
| 【四半期会計期間】 | 第65期第1四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日） |
| 【会社名】 | 酒井重工業株式会社 |
| 【英訳名】 | SAKAI HEAVY INDUSTRIES,LTD. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 酒井 一郎 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都港区芝大門1丁目4番8号 |
| 【電話番号】 | 東京 03(3434)3401番（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 管理部長 吉川 孝郎 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都港区芝大門1丁目4番8号 |
| 【電話番号】 | 東京 03(3434)3401番（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 管理部長 吉川 孝郎 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第64期 第1四半期連結 累計期間 | 第65期 第1四半期連結 累計期間 | 第64期 |
|---------------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自平成23年4月1日 至平成23年6月30日 | 自平成24年4月1日 至平成24年6月30日 | 自平成23年4月1日 至平成24年3月31日 |
| 売上高(千円) | 4,097,003 | 4,515,069 | 18,206,220 |
| 経常利益(千円) | 82,590 | 229,031 | 502,273 |
| 四半期(当期)純利益(千円) | 43,318 | 172,770 | 333,245 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 52,321 | 118,719 | 355,485 |
| 純資産額(千円) | 12,934,526 | 13,206,602 | 13,173,151 |
| 総資産額(千円) | 24,129,266 | 25,979,637 | 26,052,499 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円) | 1.02 | 4.07 | 7.85 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円) | - | - | - |
| 自己資本比率(%) | 53.6 | 50.8 | 50.5 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー(千円) | 496,184 | 1,131,441 | 378,204 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー(千円) | 12,644 | 266,222 | 221,002 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー(千円) | 24,402 | 237,307 | 306,334 |
| 現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円) | 4,541,527 | 4,307,761 | 3,148,048 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当企業グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当企業グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年6月30日）における当企業グループを取り囲む事業環境は、欧州債務危機と中国経済の減速、これに伴う歴史的円高と資源価格乱高下など不安定な経済情勢にありましたものの、国内では震災復興需要が内需を下支えし、北米では緩やかな需要回復が続き、新興諸国でもまだら模様ながら旺盛なインフラ投資が続くなど、当社主力市場は概ね安定的に推移致しました。

このような情勢の下で当企業グループでは、震災復興工事への対応強化と新興市場開拓による海外事業拡大を進めると共に、内部的には組織的ものづくり能力強化とグローバル連結経営体制づくりを進めて参りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、国内販売の拡大が牽引し、前年同四半期比10.2%増の4,515,069千円とすることが出来ました。利益面につきましても、売上高増とコスト改善により営業利益は前年同四半期比2.2倍の192,386千円、経常利益は為替差益もあり同2.7倍の229,031千円、四半期純利益は同3.9倍の172,770千円とし、増収増益を達成致しました。

国内向け売上高は、震災復興工事の進展に伴う需要拡大と共に、西日本においても需要回復の兆しが見られ、前年同四半期比20.6%増2,156,504千円と致しました。

海外向け売上高は、アジア地域（中国を含む）を除き、概ね拡大基調に推移しましたが、前年同四半期比2.1%増の2,358,564千円に留まりました。

北米向け売上高は、シェールガス開発の活発化や新規住宅着工の底入れなどにより需要回復が続き、前年同四半期比8.0%増の489,853千円と致しました。

アジア向け売上高は、中国市場で需要が半減し、またASEAN市場では高い水準ながら需要が足踏み傾向に入りつつあり、前年同四半期比18.7%減の1,288,514千円に留まりました。

中近東・ロシアCIS向け売上高は、サウジアラビア、イラク、ロシアなどで販売拡大が進み、前年同四半期比3.5倍の266,636千円と致しました。

その他市場向け売上高は、中南米、アフリカで新規市場開拓を進めると共に、オセアニアでも販売拡大を進めました結果、前年同四半期比60.5%増の313,560千円と致しました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本

震災復興需要を中心に総売上高を前年同四半期比13.9%増の3,543,910千円まで拡大致しました結果、営業利益を前年同四半期比102,561千円改善し、85,763千円と致しました。

海外

米国では、総売上高を前年同四半期比6.9%増の491,035千円に拡大致しましたものの、組織体制再強化に伴う販管費増加が先行し、9,809千円の営業損失となりました。インドネシアでは、輸出売上高が減少し、総売上高は前年同四半期比14.3%減の1,238,263千円に減少致しましたが、営業利益は前年同四半期比3.1%増の130,743千円を維持致しました。中国では、国内販売が半減すると共に排ガス規制関連の北米輸出が減少致しました結果、総売上高は前年同四半期比50.9%減の155,026千円に減少し、13,441千円の営業損失となりました。

財政状態の分析は、次のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比べ72,861千円減少し、25,979,637千円となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金が1,159,713千円増加、たな卸資産が274,818千円増加し、受取手形及び売掛金が1,127,104千円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ320,022千円増加し、19,220,911千円となりました。

固定資産につきましては、投資有価証券が505,158千円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ392,884千円減少し、6,758,726千円となりました。

流動負債につきましては、支払手形及び買掛金が131,677千円増加し、短期借入金が164,083千円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ31,192千円減少し、11,892,066千円となりました。

固定負債につきましては、長期借入金が9,021千円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ75,120千円減少し、880,968千円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金が87,925千円増加し、その他有価証券評価差額金が144,637千円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ33,451千円増加し、13,206,602千円となりました。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.3ポイント増加し、50.8%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,159,713千円増加（前第1四半期連結累計期間の資金は、464,185千円増加）し、当第1四半期連結累計期間末には4,307,761千円（前連結会計年度比36.8%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、1,131,441千円（前第1四半期連結累計期間は、496,184千円の資金増加）であります。

これは主に、税金等調整前四半期純利益228,854千円や売上債権の減少額1,101,192千円、たな卸資産の増加額259,801千円、仕入債務の増加額91,819千円及び減価償却費等の非資金的損益項目を反映したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果増加した資金は、266,222千円（前第1四半期連結累計期間は、12,644千円の資金減少）であります。

これは主に、有形固定資産の取得による支出55,063千円と投資有価証券の売却による収入300,426千円を反映したものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、237,307千円（前第1四半期連結累計期間は、24,402千円の資金減少）であります。

これは主に、短期借入金の純減額113,130千円と長期借入金の返済による支出13,021千円と親会社による配当金の支払額84,845千円を反映したものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当企業グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、163,891千円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当企業グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 149,900,000 |
| 計 | 149,900,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年6月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成24年8月10日) | 上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名 | 内容 |
|------|------------------------------------|-----------------------------|----------------------------|-----------------|
| 普通株式 | 42,620,172 | 同左 | 東京証券取引所 (市場第一部) | 単元株式数 1,000株 |
| 計 | 42,620,172 | 同左 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総数増減数 (千株) | 発行済株式総数残高 (千株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増減額 (千円) | 資本準備金残高 (千円) |
|--------------------------|--------------------|-------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成24年4月1日～ 平成24年6月30日 | - | 42,620 | - | 3,115,199 | - | 6,584,217 |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年3月31日現在

| 区分 | 株式数（株） | 議決権の数（個） | 内容 |
|----------------|-----------------|----------|------------------|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式（自己株式等） | - | - | - |
| 議決権制限株式（その他） | - | - | - |
| 完全議決権株式（自己株式等） | 普通株式 197,000 | - | - |
| 完全議決権株式（その他） | 普通株式 42,017,000 | 42,017 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 406,172 | - | 1単元（1,000株）未満の株式 |
| 発行済株式総数 | 42,620,172 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 42,017 | - |

（注）「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が5,000株（議決権の数5個）が含まれております。

【自己株式等】

平成24年3月31日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数（株） | 他人名義所有株式数（株） | 所有株式数の合計（株） | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%） |
|------------|------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| 酒井重工業株式会社 | 港区芝大門1-4-8 | 197,000 | - | 197,000 | 0.46 |
| 計 | - | 197,000 | - | 197,000 | 0.46 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,248,051 | 4,407,764 |
| 受取手形及び売掛金 | 6,683,160 | 5,556,056 |
| 商品及び製品 | 4,003,460 | 4,239,210 |
| 仕掛品 | 1,942,493 | 1,858,240 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,696,514 | 2,819,834 |
| その他 | 333,601 | 344,585 |
| 貸倒引当金 | 6,391 | 4,780 |
| 流動資産合計 | 18,900,889 | 19,220,911 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 3,715,314 | 3,786,268 |
| 無形固定資産 | 125,870 | 119,450 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,281,809 | 1,776,650 |
| 長期貸付金 | 892 | 745 |
| その他 | 1,050,691 | 1,098,568 |
| 貸倒引当金 | 22,968 | 22,957 |
| 投資その他の資産合計 | 3,310,425 | 2,853,006 |
| 固定資産合計 | 7,151,610 | 6,758,726 |
| 資産合計 | 26,052,499 | 25,979,637 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 4,977,557 | 5,109,235 |
| 短期借入金 | 5,756,522 | 5,592,438 |
| 未払法人税等 | 76,809 | 104,197 |
| 引当金 | 57,902 | 56,672 |
| その他 | 1,054,467 | 1,029,522 |
| 流動負債合計 | 11,923,259 | 11,892,066 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 31,316 | 22,295 |
| 引当金 | 52,830 | 56,494 |
| その他 | 871,942 | 802,179 |
| 固定負債合計 | 956,088 | 880,968 |
| 負債合計 | 12,879,348 | 12,773,035 |

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日) |
|----------------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,115,199 | 3,115,199 |
| 資本剰余金 | 6,361,142 | 6,361,142 |
| 利益剰余金 | 3,811,205 | 3,899,130 |
| 自己株式 | 44,743 | 45,166 |
| 株主資本合計 | 13,242,802 | 13,330,305 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 462,483 | 317,845 |
| 繰延ヘッジ損益 | - | 422 |
| 為替換算調整勘定 | 544,470 | 455,687 |
| その他の包括利益累計額合計 | 81,986 | 138,264 |
| 少数株主持分 | 12,335 | 14,561 |
| 純資産合計 | 13,173,151 | 13,206,602 |
| 負債純資産合計 | 26,052,499 | 25,979,637 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 4,097,003 | 4,515,069 |
| 売上原価 | 3,123,876 | 3,385,784 |
| 売上総利益 | 973,127 | 1,129,285 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 運搬費 | 66,816 | 74,893 |
| 給料及び賞与 | 368,927 | 388,074 |
| 技術研究費 | 164,605 | 163,891 |
| その他 | 287,822 | 310,039 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 888,171 | 936,898 |
| 営業利益 | 84,955 | 192,386 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3,871 | 879 |
| 受取配当金 | 25,003 | 27,847 |
| その他 | 16,175 | 52,929 |
| 営業外収益合計 | 45,049 | 81,657 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 35,267 | 32,404 |
| その他 | 12,147 | 12,608 |
| 営業外費用合計 | 47,415 | 45,012 |
| 経常利益 | 82,590 | 229,031 |
| 特別利益 | | |
| 保険解約返戻金 | 3,475 | - |
| 特別利益合計 | 3,475 | - |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 177 | 104 |
| 固定資産売却損 | - | 72 |
| ゴルフ会員権評価損 | 300 | - |
| 特別損失合計 | 477 | 177 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 85,588 | 228,854 |
| 法人税等 | 41,265 | 54,905 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 44,323 | 173,948 |
| 少数株主利益 | 1,005 | 1,177 |
| 四半期純利益 | 43,318 | 172,770 |

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 44,323 | 173,948 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 33,506 | 144,637 |
| 繰延ヘッジ損益 | - | 422 |
| 為替換算調整勘定 | 41,505 | 89,830 |
| その他の包括利益合計 | 7,998 | 55,229 |
| 四半期包括利益 | 52,321 | 118,719 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 50,871 | 116,493 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 1,450 | 2,226 |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 85,588 | 228,854 |
| 減価償却費 | 67,043 | 83,302 |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 1,241 | 1,618 |
| 製品保証引当金の増減額(は減少) | 779 | 1,229 |
| 退職給付引当金の増減額(は減少) | 3,701 | 2,578 |
| 受取利息及び受取配当金 | 28,874 | 28,727 |
| 支払利息 | 35,267 | 32,404 |
| 固定資産処分損益(は益) | 177 | 177 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 647,983 | 1,101,192 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 245,062 | 259,801 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 110,261 | 91,819 |
| 未払費用の増減額(は減少) | 45,579 | 84,843 |
| その他 | 143,197 | 9,869 |
| 小計 | 551,159 | 1,154,239 |
| 利息及び配当金の受取額 | 29,172 | 32,363 |
| 利息の支払額 | 41,983 | 29,969 |
| 法人税等の支払額 | 42,164 | 25,192 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 496,184 | 1,131,441 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の払戻による収入 | 20,000 | - |
| 有形固定資産の取得による支出 | 33,357 | 55,063 |
| 有形固定資産の売却による収入 | - | 38,020 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 150 | 19,470 |
| 投資有価証券の売却による収入 | - | 300,426 |
| 貸付金の回収による収入 | 862 | 2,308 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 12,644 | 266,222 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(は減少) | 47,278 | 113,130 |
| 長期借入金の返済による支出 | 13,021 | 13,021 |
| 自己株式の取得による支出 | 32 | 422 |
| 配当金の支払額 | 63,642 | 84,845 |
| 少数株主への配当金の支払額 | 2,044 | - |
| その他 | 7,059 | 25,887 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 24,402 | 237,307 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 5,048 | 643 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 464,185 | 1,159,713 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 4,077,342 | 3,148,048 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 4,541,527 | 4,307,761 |

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 現金及び預金勘定 | 4,681,523千円 | 4,407,764千円 |
| 預入期間が3か月を超える定期預金 | 139,996 | 100,002 |
| 現金及び現金同等物 | 4,541,527 | 4,307,761 |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成23年6月29日 定時株主総会 | 普通株式 | 63,642 | 1.5 | 平成23年3月31日 | 平成23年6月30日 | 利益剰余金 |

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成24年6月28日 定時株主総会 | 普通株式 | 84,845 | 2.0 | 平成24年3月31日 | 平成24年6月29日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-------------------|-----------|---------|-----------|---------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | 日本 | 米国 | インドネシア | 中国 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,761,101 | 453,625 | 707,682 | 174,594 | 4,097,003 | - | 4,097,003 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 349,650 | 5,687 | 737,217 | 141,127 | 1,233,683 | 1,233,683 | - |
| 計 | 3,110,752 | 459,312 | 1,444,899 | 315,722 | 5,330,687 | 1,233,683 | 4,097,003 |
| セグメント利益又は損失() | 16,798 | 3,672 | 126,838 | 2,240 | 115,952 | 30,997 | 84,955 |

(注)1.セグメント利益の調整額 30,997千円は、主にセグメント間取引消去であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-------------------|-----------|---------|-----------|---------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | 日本 | 米国 | インドネシア | 中国 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,252,622 | 489,853 | 675,800 | 96,793 | 4,515,069 | - | 4,515,069 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 291,287 | 1,182 | 562,462 | 58,232 | 913,165 | 913,165 | - |
| 計 | 3,543,910 | 491,035 | 1,238,263 | 155,026 | 5,428,235 | 913,165 | 4,515,069 |
| セグメント利益又は損失() | 85,763 | 9,809 | 130,743 | 13,441 | 193,255 | 868 | 192,386 |

(注)1.セグメント利益の調整額 868千円は、主にセグメント間取引消去であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 1円02銭 | 4円07銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 43,318 | 172,770 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 43,318 | 172,770 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 42,428 | 42,421 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8月10日

酒井重工業株式会社
取締役会御中

あらた監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 田邊 晴康 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 大橋 佳之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている酒井重工業株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、酒井重工業株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。